

芸友

第164号

<http://bussei.gr.jp/>

Buzanbussei
Buyu

題字 田代弘興 猥下



大正大学・種智院大学 新入生歓迎会

大正大学に学部生が十六名、編入生が六名、種智院大学に一名の新入生が入学しました。本年度も豊山仏青執行部が新入生歓迎会にお邪魔しました。



大正大学新入生の皆さん



種智院大学新入生と在学生の皆さん



平成三十一年度 大正大学新入生歓迎会のご報告

埼玉三号支所 醫王寺
豊山研究室 副手

小島 雄貴



平成最後となる大正大学豊山学生会による「新入生歓迎会」が四月十八日に執り行われました。

大正大学の新入生歓迎会に携わって八度目ほどになりますが、今回は豊山研究室副手という立場で、新たに僧侶を目指して入学してきた学生達を迎え入れることができました。今回の新入生は学部生が十六人、編入生が六人とやや人数が少なく、年齢も幅広い学生がいる中でも、歓迎会の様子を見ていけると積極的に交流し、良いチームワークを早速発揮している学年なのではないかと感じました。入学同期は、夏冬計四度の指定研修や加行を共にし、生涯に亘って関わりのある友人となっていくものです。また、先生、先輩方との交流を経て親睦を深められる良い機会となったのではないかと思います。これからの真言宗豊山派を支えていく新たな仲間が増えたことに私自身も大きな喜びを感じた次第であります。

また豊山学生会も新役員に代わって初めての大きな行事ではありましたが、落ち着きのある進行であったと共に、馬場慶真会長を中心として大いに歓迎会を盛り上げてくれたと感じました。豊山学生会の行事も年々大きく、多様になっており、学生それぞれが積極性、協調性をもって更に良いものへと発展していったほしいです。

今回ご臨席を賜りました、多くの先生方、林映寿会長を始めとする豊山仏青執行部様にはこの場をお借りして重ねて御礼を申し上げます。

平成という一つの時代が終わり、令和という新しい時代を迎えました。社会が大きく変化していく中で、大学の教育も多様に変化しております。学生それぞれが目標をもって勉強活動に大いに励んでほしいと思います。また今回、入学された新入生の今後の活躍を期待してまいります。





災害協定締結

真言宗豊山派仏教青年会では、株式会社AirX様との災害協定を結ぶ運びとなり、3月11日(月)に千葉県柏市の布施弁天 東海寺にて調印式を執り行いました。

この協定は、大規模な災害が発生した際、陸路が断たれ、物流・交通インフラを活用した支援が不可能となった場合に備え結ばれました。

そのような被災地に対し、ヘリコプターのチャーター事業を行なっている

AirX様が保有する機体を使い、

豊山派寺院より現地の情報を提供していただき、

その情報から着陸可能地点を定め

空路による物資輸送が可能となることが目的となっています。

また、それに伴いまして、日常における備蓄活動・避難訓練などの準備と、

それらの普及啓蒙活動も行っています。



キャンピングカー巡礼

～北信濃十三仏霊場編～

その2

前号に引き続き、北信濃十三仏霊場をキャンピングカーで巡礼した際の記録をお届けします。どのお寺もそれぞれ特色があり、沢山の見所がありました！

1日目後編

第一番札所

不動寺 不動明王



上杉謙信公ゆかりの不動明王像がお祀りされています！

第八番札所

高顕寺 観音菩薩



「高顕寺桜」と呼ばれる樹齢約五百年の桜があります！

第十番札所

正満寺 阿弥陀如来



近年新築されたばかりの立派な本堂が見所です！



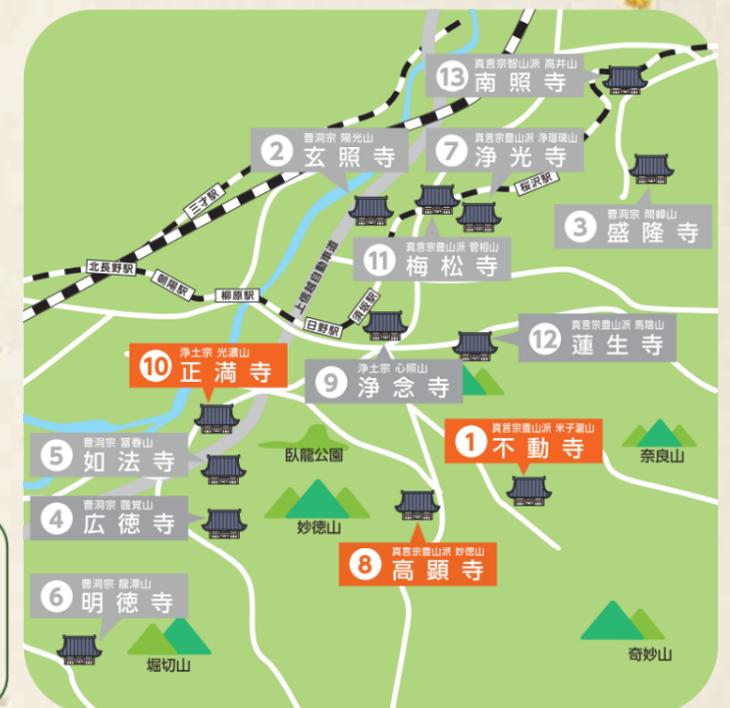
キャンピングカーのイイところ！

宿泊場所と移動手段の両方を兼ねた旅を楽しめるキャンピングカー。その旅をより便利にする場所が、専用駐車場の「RVパーク」です。外部電源やお手洗い等の設備が整っているため、有効活用することでキャンピングカーは安心・安全な長旅の拠点となります！



キャンピングカーのレンタルは

キャンピングカー
<https://camp-in-car.com/>



防災フォーラム

「災害に備え今から出来る事 その時に出来る事」

平成31年2月13日(水)、真言律宗総本山西大寺に於いて全真言宗青年連盟防災フォーラムが開催されました。このフォーラムは「災害への備え」と「災害時の対処」の二方向から防災に関する知識を深めるフォーラムです。

午前は西大寺本堂にてご法楽を上げた後、有名な大茶盛のご接待をいただきました。

午後より講習会が始まりNPO法人プラス・アーツ坂本良子先生に自宅でできる災害時の備えや、災害時の怪我の手当て等をご教授いただき、グループワークなどを交えてご講演をいただきました。

その後、真言宗豊山派仏教青年会と災害協定を結んでいる株式会社レヴォレーター様、石井食品株式会社様ご協力のもと、火起こし体験・水の濾過装置の体験・非常食の試食・キャンピングカーの試乗などが行われました。

防災の知識が得られたとともに、ワークショップを通して真言宗の青年僧同士の交流の場となりました。主催していただきました全真言宗青年連盟様、ご協力いただきましたNPO法人プラス・アーツ様、株式会社レヴォレーター様、石井食品株式会社様に御礼申し上げます。



道

「その先へ」 第47回真言宗豊山派仏教青年会全国結集北海道大会

謹啓、初夏の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のことと存じあげます。昨年、『北海道』が命名150年になりました。かつては、アイヌの方々と共に存し、今なお各地に命名当時の文化などの跡が残されており、そして、命名151年目に入った今日、平成から令和へと変わり、北海道も新たな歴史へと進んで行こうとしています。ここ数年全国各地で、多くの災害被害が頻繁に起きている中、昨年は、北海道でも胆振東部地震など大きな災害が発生致しました。今尚、安心して生活を送ることが出来ない被災地並びに被災者がいる現状でございます。

そこで我々、全国結集実行委員会では、被災地並びに、被災者に一日も早く復興を御祈念致す為、また北海道の新たな歴史の一步として、この度、テーマ『道「その先へ」』と題して、令和元年10月31日、11月1日の二日間、旭川市にて開催する運びとなりました。日程内容につきましては、一日目、聲明、太鼓、雅楽など仏青会員が中心となつて、胆振東部地震復興祈願法要コンサートを奏でていただいたり、また地元北海道出身である講談師 神田山陽様をお招きし、一席を講じていただくかと考えております。尚、こちらの法要コンサートは、仏青会員様はもちろんの事、我々仏教青年会の活動を広く一般の方々、及び檀信徒様方に、知っていただきたいという願いから、多くの方々に足を運んでいただけたらと考えております。二日目は、より多くの会員様に北海道という地を知っていただく為、北海道の歴史や文化に関わる方をお招きし、講演していただくと思っております。皆様方にはご支援、ご協力を賜りますよう、何卒ご理解の上、ご賛同のほどよろしくお願い申し上げます。

合 掌

第47回全国結集北海道大会実行委員長 藤倉 隆寛



■日程(予定)

<1日目>

令和元年 10月31日(木)先勝
13:30 開場 ※会場旭川市民文化会館大ホールにて
14:00 開演 第一部 講談師 神田山陽
~休憩~
第二部 聲明、太鼓、雅楽など仏青会員中心による演奏。
被災地復興祈願法要コンサート
16:00 終演予定
18:00 開会式、懇親会
真言宗豊山派仏教青年会全国結集 北海道大会
※会場 OMO7旭川

<2日目>

令和元年 11月1日(金)友引
10:00 開始 著名人による講演等を予定
12:00 移動理事会を予定

編集後記

『豊友』の制作にもやっと慣れてきましたが、任期中の『豊友』も今号を除いて残り二号となりました。昨年度は慣れない作業が多いなかで、インタビューに答えてくれた方々、寄稿いただいた方々のご協力でなんとか昨年度の『豊友』三号分を発刊するに至りました。ありがとうございます。

さて、今号は改元後初の『豊友』となります！新しい時代を担っていく若い方々への期待を込めまして新入生歓迎会のスナップ写真を表紙にしてみたり、新入生歓迎会の紙数を多目に見たりと令和元年初の『豊友』に相応しい内容となったと思います。

実は内容が豊富過ぎて、四月二十六日に厳修されました「東大寺花まつり千僧法要」の記事にすることが叶いませんでした。豊山仏青も参加しましたので、紙面を借りてご報告させていただきます。

豊山仏青広報次長 野々部利生

写仏講座・千響チャリティー演奏は

豊山仏青

検索



Facebook

www.facebook.com/buzanbussei/

豊友お問い合わせ先

webussei@gmail.com



豊友 第164号

令和元年6月18日発行

発行人 林 映寿

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

デザイン・印刷 株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション